

保 健 体 育

第1節 概 要

「第3次福島県長期総合教育計画」の「第2期実施計画」に基づき「心豊かな、たくましい人間」の育成をめざして、保健体育課においては、体育、保健・安全、給食の各分野の相互連携を図りながら、平成2年度福島県教育委員会重点施策である「豊かな人間性と創造性をはぐくむ学校教育の推進」と、「健康づくりをめざす体育・スポーツの推進」を柱として各種施策の推進を図った。

さらに、平成7年に本県で開催される第50回国民体育大会に向けて、国体開催県にふさわしい優秀な成績を収めるための競技力向上対策については、競技力向上対策本部・企業スポーツ連絡協議会の整備充実、指導者の養成確保、選手の育成強化、特殊競技用具の整備など、各般の施策を積極的に推進した。

1 学校体育の充実

学校における体育・スポーツの充実を図るため、体育担当教員並びに運動部活動担当者を対象に各種体育実技指導者講習会をはじめ、豊富な経験をもつ優れた民間指導者を学校に派遣する指導協力者派遣事業等を通して教職員の資質の向上と児童生徒の運動技能の向上に努めた。

また、文部省指定「体力づくり推進校」「武道指導推進校」「運動部活動研究推進校」の研究推進をはじめ、県教育委員会指定「体力づくり研究推進校」「集団・安全行動推進校」等の実践研究及び公開発表を契機として、その成果を地域の学校に普及させるように努めた。

さらに、本県児童生徒の体力・運動能力の実態を把握するため、スポーツテストを実施し、その分析結果の活用を図るとともに、各学校の実態に応じた体力づくりの推進に努めた。

そのほか、小学校運動競技奨励事業を実施し、陸上競技会及び水泳競技会等を通して運動に親しむ児童の育成を図るとともに、児童の体力・運動能力の向上に努めた。

2 学校保健・学校安全の充実

学校における保健教育・保健管理の充実を図るため、学校保健関係教員を対象に保健教育・安全教育指導者研修会を県内3か所において開催したのをはじめ、新採用、5年経験、中堅の養護教諭を対象に各研修会を開催し、資質の向上に努めた。

さらに、日本体育・学校健康センターと共催で心肺蘇生法実技指導者講習会を開催し、技能の習得を図るとともに、東北学校保健大会を開催し、各種の研究協議を通して関係者の資質の向上に努めた。

また、児童生徒及び教職員の健康診断を実施し、疾病・異常の早期発見に努めるとともに、学校保健委員会の組織活動を促進し、学校保健活動の活性化に努めた。

なお、児童生徒のむし歯被患率が高いことから、むし歯予防の実践研究を推進するため、文部省指定の指定校による研

究の推進や日本学校保健会の委託事業による県内2地区における地域ぐるみのむし歯予防の推進に努めた。

健康教育についても、文部省及び県の指定による研究推進校によりその推進に努めた。

学校における環境衛生検査、中でも水質検査の実施の徹底を図った。

次に、学校における安全教育・安全管理の徹底を図るため学校安全指導者を対象に、交通安全教育指導者研修会を開催し、資質の向上に努めた。

3 学校給食の改善充実

本年度の学校給食の実施状況を児童・生徒数で見ると、完全給食は小学校で98.0%、中学校では79.8%の実施率となった。

米飯給食は、小・中学校とも完全給食実施校では100%の実施率となっており、週当たりの実施回数は平均2.8回である。

学校給食費は、1食当たり小学校（中学年）で211円57銭、中学校で247円75銭となっている。

次に、学校給食の適正な運営改善充実及び給食関係職員の資質の向上を図るために、各種の研修会等を開催した。また教育的指導力の向上を図るために、本年度から実施されることになった「北海道・東北ブロック新採用学校栄養職員宿泊研修会」を、本県において開催した。

さらに、食中毒や労働災害等の事故防止を図るため、研修会及び文書・広報等により衛生思想の啓発、安全管理の指導に努めた。また、学校給食の改善充実の実践研究を推進するため、平成2年度から2年間、県教委指定の「学校給食改善研究指定校」2校を指定するとともに、地域に根ざした学校給食を実現するため学校・家庭・地域との連携に努めた。

4 東北・県研究大会の開催

第25回東北学校保健大会第14回福島県学校体育、保健・安全、給食研究大会を、県内外関係者780名の参加を得て、福島県文化センターを主会場に2日間の日程で開催した。

「自ら進んで健康な生活のできる幼児・児童・生徒の育成を目指して」を大会主題に、幼児・児童・生徒の健康の保持・増進を図るため、学校体育、保健・安全及び給食の諸問題について研究協議し、多くの成果を収めた。

5 社会体育の充実

体育・スポーツ活動の推進を図るため、体育・スポーツ団体への助成をはじめ、県総合体育大会（国体・東北総体選手選考会、県民スポーツ大会、スポーツ少年団体育大会）の開催や各種大会の共催、さらには、東北総合体育大会、国民体育大会、全国スポーツ・レクリエーション祭に役員・選手を派遣するなど、スポーツの普及・振興に努めた。

また、巡回スポーツ指導事業やスポーツ功労者等派遣指導事業を開催し、指導者の養成確保と資質の向上に努めた。